

OKITAMA NEWS



知事と共に山形県の明るい未来を考える 「県民まんなか」みらい共創力フェス 開催！

11月17日(月)、「明るい山形県の未来」をテーマに知事と県民が対話をを行う『県民まんなか』みらい共創力フェスを米沢市で開催しました。今年9月に米沢市で開催された「360°(さんろくまる)オープンファクトリー」の実行委員8名に参加いただき、「あなたの望む明るい山形」をテーマに吉村知事と意見交換をしました。



■総務課 企画調整担当 ☎ 0238-26-6006

〈参加者の意見〉

「子ども達が将来も山形で暮らしたいと思えるよう、我々大人が山形で挑戦し輝いている姿を子ども達に見せてていきたい」

「地域の産業で成果を挙げて、魅力ある企業が山形にもたくさんあると、県内外にアピールすることが大事だ」

〈吉村知事コメント〉

「皆さんの各分野での一生懸命な取組みが、山形県の関係人口の増加に繋がっていくといいなと思いました。」

今後も明るい未来の実現に向けて、一緒に頑張りましょう！」



「令和7年度置賜地域農林水産業若者賞」若者の優れた功績や取組みを表彰！

11月4日(火)、置賜総合支庁で「令和7年度置賜地域農林水産業若者賞」の表彰式を開催し、地域で活躍する若者の優れた功績や取組みを表彰しました。

〈受賞者(3名)〉

○横沢 賢一郎 さん(写真左)【米沢市 農業(りんご、さくらんぼ、西洋梨、桃)】

県内で一番古いりんごの産地「館山りんご」の伝統を受け継ぐ松岬園(しょうこうえん)を経営し、地域の中心的な担い手として活躍。東北農業青年クラブ連絡協議会会長(R3年)などを歴任。

○辻 直人 さん (写真中央)【南陽市 農業(桃、西洋梨、さくらんぼ、アスパラガス)】

辻農園を経営。「子どもが食べても安心な高品質作物の生産」を経営理念とし、人と環境にやさしい農業を目指して減農薬栽培とともに、環境ストレスに強い作物づくりに取り組む。JA山形おきたま南陽もも部会長(R7年)などを歴任。

○樋口 賢太郎 さん(写真右)【白鷹町 農業(マスクメロン、啓翁桜)】

株式会社サンファームしらか取締役生産部長として安定した経営を行いつつ、雇用創出、人材育成を通じて地域農業の発展に寄与。JA山形おきたま青年部白鷹地区委員長(R6年)などを歴任。

■地域産業経済課 農産物利用拡大担当 ☎ 0238-26-6042

目次

トピックス&事業報告

「県民まんなか」みらい共創力フェス
置賜地域農林水産業若者賞 表彰！

「つや姫」おいしさの神コンクール グランプリ決定！..02

おきたま未来の建設フェスタ！で建設業の魅力発信

障がい者が十分一山で森林散策

おきたま「ともいき」フェスティバルを開催

障がい者就労事業所製品販売会in飯豊町

農産物利用拡大セミナーで学ぶ

令和7年度置賜地域議員協議会を開催

若い世代に向けた性に関するセミナー

置賜地域農福連携現地視察研修会を開催

お知らせ

…01 川西町・鏡沼ため池の復旧工事が完了
冬の油流出事故に注意！

…02 保護犬・保護猫の譲渡前講習会のご案内

食品ロス削減にご協力ください

…03 入浴時の事故 ヒートショックに注意！

…04 ノロウイルス流行の季節です

…05 心の健康について考えてみませんか

…06

置賜総合支庁ニュース | 12月号

発行元：山形県置賜総合支庁／Vol.203



HP



X(旧Twitter)



総合支庁ニュースは
県HPでも公開中！

置賜総合支庁X(旧
Twitter)も活動中！

マイスターが選んだ今年一番おいしい「つや姫」が決定！



「山形つや姫マイスター」は、本県ブランド米「つや姫」の高い栽培技術を持つ、地域の指導的立場にある「つや姫」の生産者です。このマイスターが自慢の米を持ち寄って皆で実食し、最もおいしい「つや姫」を決定する『つや姫おいしさの神コンクール』が11月26日(水)、米沢市のグランドホクヨウで開催されました。

県内各地域の予選を勝ち抜いた9点による食味審査の結果、最高位のゴールドマイスターには高畠町の遠藤五一さん、2位のシルバーマイスターには戸沢村の早坂剣さん、3位

のブロンズマイスターには鶴岡市の鈴木仁さんがそれぞれ選ばれました。

置賜勢の上位入賞は、昨年度のシルバー、ブロンズのダブル受賞に続き2年連続で、しかも悲願のゴールドマイスター初受賞となり、置賜地域の米づくり技術の高さを示すことができました。

■農業技術普及課 作物担当 ☎ 0238-57-3411



食味審査中

＼たくさんのご来場ありがとうございました！／ 「おきたま未来の建設フェスタ！」で建設業の魅力を発信

将来の建設業を担う人材の育成と確保を目的に、小中学生向けイベント「おきたま未来の建設フェスタ2025」が11月1日(土)に置賜総合支庁で開催され、669名の皆様にお越しいただきました。

当日はたくさんの方が重機の操作、建築設計、木工、お菓子の家づくりなどの体験や、職業・学校紹介パネルなどを観賞するなど、楽しみながら建設業について学んでいました。また、eスポーツ大会では参加者が優勝を目指し、シミュレーションゲーム「重機でGo」を一生懸命プレイしていました。

振る舞いのU字溝焼き鳥やキッチンカーも大好評で、食も楽しみながら建設業の魅力に触れることができる、有意義な1日になりました。

来年度の開催も楽しみにお待ちください！

■建設総務課 建設技術調整担当 ☎ 0238-26-6099



～障がい者森林体験事業in南陽市～ 十分一山で秋の森を満喫！

10月15日(水)に、置賜地域の4か所の障がい者施設の利用者と身体障がい者協会員の14名を含む43名が、南陽市の十分一山(じゅうぶいちやま)で障がい者森林体験事業に参加しました。

この事業は、障がいのある方にも置賜の森の魅力に触れてもらおうと置賜総合支庁が企画しているもので、6月の「下小松古墳群(川西町)」に次いで今年度2回目の開催です。

当日は、「障がい者森林活動案内ボランティア」や「南陽えくぼの里案内人」の方々の介助と案内で、秋晴れの中、南陽スカイパークから置賜盆地を眺めたり、やまがた絆の森「もくロックの森」の散策、クラフト制作を行い楽しみました。

参加者からは、「山からの景色がきれいだった」「アオダモの実験※が面白かった」「また来たい」などの感想が寄せられました。

■地域保健福祉課 地域福祉担当
☎ 0238-27-1487



※切った枝を水に入れ、UVライトを当てると青く光るもの

「地域で共に生きる」を考える

おきたま『ともいき』フェスティバルを開催！



障がいの有無や年齢等にかかわらず、誰もが役割と生きがいを持ち、支え合いながら共に生きる「地域共生社会」の実現に向けた取組みの一環として、「おきたま『ともいき』フェスティバル」を、11月17日(月)に南陽市交流センター蔵楽(くらら)で開催しました。

地域での人と人とのつながりや支え合いを生み出す取組みを進めている5つの団体によるリレートークのほか、障がい者就労事業所による製品販売会や、小児がん患者を支援するレモネード販売を併せて実施しました。プロの演奏家によるリズム感溢れる演奏や元Jリーガーによるストレッチの実践もあり、参加者からは、

「楽しながら学ぶことができた」、「自分もできることから取り組みたい」といった感想が寄せられました。



発表団体

- *から・ころセンター(米沢市)
- *音楽のチカラ(宮城県)
- *カーシェアリング南陽市
- 助け合いの会(南陽市)
- *ヴォーチェ(山形市・南陽市)
- *モンティオ山形(天童市)



■地域保健福祉課 地域福祉担当 ☎ 0238-27-1487

あなたの買い物が支援につながる！

～障がい者就労事業所による製品販売会in道の駅いいで～



10月18日(土)に飯豊町の「道の駅いいで」において、置賜管内にある6つの障がい者就労事業所による販売会が開催されました。

参加事業所の利用者が心を込めて作ったハンドメイド雑貨やコーヒー豆、焼き菓子、ミニ植物、野菜など多彩な商品が並び、買い求める多くのお客様で賑わいました。今回は、風船のプレゼントやドリップコーヒーの掴み取りなど、各店舗が考案した企画も大変好評でした。

管内事業所は、障がい者の自立支援や就労支援にもつながる取組みとして、県内の様々なイベント等にも積極的に出店しております。引き続きご利用くださるとともに、販売会を開催できるようなイベント等があれば、担当までお知らせください。

■地域保健福祉課 地域福祉担当 ☎ 0238-26-6029

農産物利用拡大セミナーで学ぶ 「おきたま産」を輝かせるには？



11月19日(水)置賜総合支庁講堂で「おきたま農産物利用拡大セミナー」を開催しました。第1部では、農産加工事業者・食品製造業者等3事業者について株式会社ミタス・パートナーズ代表取締役本田信輔氏を講師に個別求評会を実施しました。

第2部では、株式会社表蔵王ベルタウン道の駅やまがた蔵王駅長青木哲志氏から「道の駅「やまがた蔵王」でのチャレンジ！」と題して、道の駅でのイベントや販売のポイントをわかりやすく紹介していただきました。また、本田氏からは「置賜の農産物をもっと輝かせる！商品づくりと売り先づくり」と題して新商品開発のポイントと販路開拓について事例を交えながら講演いただき、求評会の講評もいただきました。

参加者からは「多くの気付きがあり、やる気が出た」等の感想をいただきました。



■地域産業経済課 農産物利用拡大担当 ☎ 0238-26-6042

令和7年度置賜地域議員協議会 開催 置賜地域の課題を総合支庁で審議しました！



■総務課 企画調整担当 ☎ 0238-26-6006

置賜地域における課題や総合支庁が実施する事業等の調査・審議を行う「置賜地域議員協議会」が管内選出県議会議員の出席のもと、11月21日(金)、置賜総合支庁西置賜地域振興局で開催されました。

審議に先立ち、佐藤総合支庁長から、若者の定着・回帰に向けた取組みやクマによる被害への対応状況等について説明が行われました。

質疑では、クマ被害における支援策や関係機関との連携強化、駅の活性化、道路や河川の維持管理など、県政全般について活発な議論が交わされました。

県議会活動を身近で傍聴できる機会です。毎年開催しておりますので、ぜひお越しください。



「若い世代に向けた性に関するセミナー」 若者的心と体の健康づくりを推進

■こども家庭支援課 保健支援担当
☎ 0238-22-3205

10月9日(木)山形県立米沢女子短期大学、11月14日(金)山形県立高畠高等学校にて「若い世代に向けた性に関するセミナー」を開催しました。このセミナーは、若い世代が性やプレコンセプションケア※についての正しい知識を得ることを目的としています。

それぞれ「健やかな性を育むために」、「性のトラブルに遭わないために」という演題で、ゆめクリニックの太田信彦院長より講演いただきました。

講演後には、「恋人同士であってもお互いを尊重したい」「自分の体の大変なことを知れてよかったです」等の感想が寄せられ、若者的心と体の健康づくりにつながる事業となりました。

※プレコンセプションケアとは
性別を問わず、適切な時期に、性や健康に関する正しい知識を持ち、妊娠・出産を含めたライフデザイン(将来設計)や将来の健康を考えて健康管理を行うこと。



農業と福祉の連携 互いの課題解決に

11月6日(木)に、「置賜地域農福連携現地視察研修会」を開催し、障がい者就労事業所の職員や自治体職員などが、農福連携の現場を見学しました。

見学先は、川西町の旧東沢小学校にある「就労継続支援事業所 Leap(リープ)」で、地元農作物等を使ったクラフトコーラを製造し、お土産店などで販売しています。

もう1つは、米沢市内にある「農園 成(なる)」の圃場で、「就労継続支援事業所ラ・ヴェリタ」の利用者が同園で一年を通して様々な農作業に従事しており、お互いにメリットを感じられる関係を築いています。

農福連携は、障がい者の就労の場の確保と農業の働き手不足の解消を連携して行うもので、県内でも取組みが進んでいます。興味のある障がい者支援施設や農業者の方は、ぜひ担当までお問い合わせください。



■地域保健福祉課 地域福祉担当 ☎ 0238-26-6028



川西町・鏡沼ため池の復旧工事が完了しました



鏡沼ため池は、川西ダリヤ園の隣にある農業用ため池です。令和4年8月の豪雨により堤体が決壊し、下流の住宅地や農地に浸水被害を及ぼし、地域住民の生活に深刻な影響を与えるました。

その後、県と川西町は協定を締結し、県が再発防止を目的とした復旧事業を行ってきました。復旧工事は原形復旧にとどまらず、放流路の拡幅や堤体の耐震化、洪水吐き(こうずいばき)構造の改良などを行い、今年6月に完成しました。

現在は、ため池の安全性を確認する試験を行っており、今年度中にすべての復旧事業が完了する予定です。

■西置賜農村整備課 工事担当 ☎ 0238-88-8220



油断大敵！油流出事故を防ぎましょう

■環境課 環境保全担当 ☎ 0238-26-6035

冬期間は暖房器具の使用に伴い、油の流出事故が増えます。

その多くは「うっかりミス」によるものですが、一度油が流出すると河川の水質や生態系に大きな影響を与えるとともに、回収等にかかった費用は原因者負担となるため、一瞬の気のゆるみが大きな後悔につながります。

事故発生時は、最寄りの消防署、市町または置賜総合支庁環境課にご連絡ください。

«油流出事故を防ぐために»

- 灯油をホームタンクから小分けする際は、絶対にその場を離れない！
- 小分けのポリタンク等は安定した場所に置き、転倒に注意！
- 降雪前にホームタンクや配管に破損や亀裂がないか点検するとともに、落雪から保護して！



保護犬 🐕 保護猫 🐱 の飼い主募集中！

～譲渡前講習会のご案内～

■生活衛生課 乳肉衛生管理担当

☎ 0238-22-3750

置賜保健所では、保健所が収容等した犬・猫を譲り受けたい人を対象に、講習会を行っています。講習会では、犬・猫を飼う時に守るべき法律事項、飼う時の心構え、迷惑にならない飼い方やしつけのポイント、注意したい病気のことなどをお話しします。

講習会は毎月第3木曜日の午後2時から、置賜保健所分庁舎の会議室で開催しています(1時間程度)。受講を希望される方は、事前にお問い合わせください。



譲渡可能ないぬ・ねこの
最新情報はこちら！
(置賜保健所HP)



犬・猫をあなたの家族に迎えるまでの5STEP!



食品ロス削減にご協力ください

食べ残しや売れ残りなどの理由で、まだ食べられるのに捨てられてしまう食品のことを「食品ロス」といいます。

日本の食品ロスは年間464万トンで、これは、国民一人あたり毎日おにぎり約1個分(102g)の食品を捨てていることになります(令和7年6月、農林水産省報道発表資料)。

「食品ロスを減らす方法」を参考に、環境にもお財布にも優しい食品ロス削減に取り組んでみましょう。

■環境課 廃棄物対策担当 ☎ 0238-26-6034

12 つくる責任
つかう責任



<食品ロスを減らす方法>

◎消費期限と賞味期限の違いを理解し、
食べられる食品をむやみに捨てない

◎毎月決まった日に冷蔵庫や食品庫を確認し、買いすぎを防
ぎ計画的に食材を使いきる

◎外食等の際は、食品ロス削減に取り組む「もったいない山形
協力店」を利用する

「もったいない山形協力店」一覧はこちら！



入浴時の事故 ヒートショックに注意しましょう

冬は入浴事故が多くなります。要因の一つがヒートショックです。

ヒートショックは、急激な温度変化により血圧や脈拍が変動し、身体に様々な反応が起こることです。その結果、一時的な意識障害や脳卒中・心筋梗塞等が生じ、転倒や浴槽で溺れる等、命に関わることもあります。特に高齢の方は注意が必要です。また、体調不良時、飲酒や食事直後、睡眠薬等の服用後、早朝等の入浴は避けましょう。

入浴は疲れを癒しますが、一步間違うと命の危険を伴います。お風呂の入り方に注意しましょう。

ヒートショックを防ぐには…

- ◆ 脱衣所や浴室を暖める
- ◆ かけ湯をする
- ◆ お風呂の温度は41度以下にし、
お湯につかる時間の目安は10分
- ◆ 入浴前後に水分補給
- ◆ 同居家族がいれば入浴前に一声かけて、
入浴中の家族を気にかける

■保健企画課 健康長寿推進担当
☎ 0238-22-3004



ノロウイルス流行の季節です



ノロウイルス食中毒は一年を通じて発生していますが、特に冬に流行します。

主な症状は嘔吐や下痢、発熱ですが、感染しても無症状の人もいます。ノロウイルスは感染した人や汚染された食品から感染します。食中毒を予防するために、下記のポイントに注意しましょう。

<ノロウイルス食中毒予防のポイント>

- 1 症状があるときは、食品を直接取扱う作業をしない。
- 2 嘔吐物の適正な処理。調理器具は熱湯や塩素で消毒する。
- 3 食品は中心までしっかりと加熱。(85°C以上で90秒以上)
- 4 手洗いは二度洗い。洗うタイミングはトイレのあと、調理や盛付前、飲食の前。

■生活衛生課 食品衛生担当 ☎ 0238-22-3740



担当者のひとことコーナー

12月に入り、すっかり冬になりましたね。置賜管内のゲレンデも12月下旬から続々とオープン予定のようです。ゲレンデといえば、担当者の家には、山形の冬を満喫するべく数年前に購入したもの、2回しか使っていないスキーウェアがあります。今シーズンは日の目を浴びるといいのですが…

心の健康について 考えてみませんか

12月1日(月)から7日(日)は、精神保健福祉普及運動期間です。

現代は様々なストレス要因があり、誰もが心に不調をきたす可能性があります。心に不調を抱える人も、そうでない人も、共に理解し助け合える社会を目指していくことが大切です。

この機会に、ご自身や周りの人の心の健康について考えてみませんか。置賜保健所では、保健師の他に精神科医による相談も行っています。ご自身のことでも、周りのことでも構いません。ひとりで悩まず、気軽にご相談ください。

【ご相談・お問合せ先】
置賜保健所 地域保健福祉課
精神保健福祉担当
☎ 0238-22-3015



置賜総合支庁総務企画部総務課企画調整担当
住所:米沢市金池7丁目1-50
TEL:0238-26-6100 FAX:0238-24-1402

